

## 政策評価部会の審議結果について

平成19年2月15日

政策評価部会

### 1 平成18年度政策評価・施策評価の審議結果

平成18年度の政策評価・施策評価については、平成18年6月16日付けで知事から30政策105施策が行政評価委員会に対して諮問された。当部会に福祉、環境、教育、産業、社会資本の5分科会をおき、平成18年7月7日から8月24日にかけて延べ17回の分科会を開催し、審議を行った。

諮問を受けた政策・施策のうち、分科会で21政策66施策について審議し、政策評価に関し約160件、施策評価に関し約270件の意見を出すとともに、1から7の数字による判定（数字が大きいほど県が行った評価の妥当性が高い。4が中央。）を行った。その結果、政策評価では、県の評価に対し「5」と判定したものが4件、「4」が9件、「3」が8件であった。

施策評価では、県の評価に対し「7」と判定したものが2件、「6」が1件、「5」が10件、「4」が27件、「3」が24件、「2」が2件であった。

また、審議を行った政策評価・施策評価の全体的事項についての意見は次のとおりであった。

#### (1) 評価制度全般について

- ・現在進められている平成19年度を初年度とする「（仮称）宮城の将来ビジョン」の策定に当たっては、可能な限り当部会の意見を反映されたい。
- ・政策評価指標が変更されると、政策、施策の有効性・効率性等の判定が困難になるので、新たな政策評価指標は可能な限り遡及的に調査・計上されたい。
- ・政策評価・施策評価の判定は、「適切」「概ね適切」「課題有」の3区分であるが、県が自ら「課題有」と評価しにくいと思われる。現在の3区分を5区分とすることにより、きめ細かい評価が可能になるので検討されたい。
- ・政策を構成している施策のうち、政策評価指標を設定している施策が少ない場合は、政策を総合評価するための情報が不足するので、政策評価指標群の妥当性、施策群の有効性の記述は省略するなど、工夫されたい。
- ・昨年度に部会が出した評価手法及び事業手法についての意見に対し、適宜改善のうえ今年度の評価に臨んだ政策・施策が多く見られた。次年度以降においても当部会の意見を十分に踏まえられたい。

#### (2) 政策評価指標について

- ・当部会の意見に基づき新たな政策評価指標を設定するなど、改善された政策評価指標が見られたが、まだ検討が必要な指標も多く見られる。  
政策、施策の有効性や効率性等を評価するためには、適切な政策評価指標の設定が必要なので、専門家を交えた指標の整備を検討されたい。
- ・政策評価指標が設定されていない施策のうち、県民満足度調査結果で優先度が高い施策や、重視度と満足度のかい離が大きい施策は、政策評価指標が設定できるよう検討されたい。
- ・事業の成果を政策評価指標に反映しきれない部分はあると思うが、成果があっても基本票に反映されなければ評価できないので、複数の政策評価指標を設定するなどして、できるだけ成果が反映されるよう工夫されたい。

・政策評価指標のうち、施策の成果を把握するまでに一定程度の期間を要するものについては、途中のプロセスを評価できる政策評価指標の設定を検討されたい。

(3) 県民満足度調査結果の活用について

・県民満足度調査結果の分析に関して、例えば、政策・施策に係る対象集団の分析や、圏域別分析など、もっと工夫をして政策や施策の方針決定に反映されたい。

(4) 部局間の連携について

・複数の部局が関連する政策、施策については、特に連携に配慮して効果的な施策展開を図られたい。

この審議の結果については、平成18年10月13日付けで行政評価委員会から知事あてに答申した。

### 審議の経過

諮問 月 日 平成18年 6月16日

政策評価部会 (第1回) 審議事項 平成18年度政策評価・施策評価について  
分科会の審議の進め方及び所属委員等について  
月 日 平成18年 6月23日

分科会	審議事項	政策評価・施策評価の審議	
	月 日	平成18年 7月7日～8月24日	
	分科会名	審議政策・施策数	開催回数
	福祉分科会	5政策16施策	4回
	環境分科会	4政策11施策	3回
	教育分科会	3政策10施策	3回
	産業分科会	5政策16施策	4回
	社会資本分科会	4政策13施策	3回

政策評価部会 (第2回) 報告事項 県民意見の聴取について  
審議事項 各分科会の審議結果について  
答申案について  
月 日 平成18年 9月12日

答申 月 日 平成18年10月13日

政策評価部会 (第3回) 報告事項 平成18年度政策評価・施策評価に係る評価の結果について  
平成19年度政策評価・施策評価について  
県民満足度調査について  
(仮称)宮城の将来ビジョンについて  
月 日 平成19年 2月 2日

平成18年度行政評価委員会政策評価部会 分科会審議結果一覧表

7段階判定(1～7)は、県の自己評価について、数字が大きいくほど妥当性が高い判定となる。4が中央。

政策評価・施策評価(県の評価原案)は、県が行った政策・施策に関する評価(「適切」、「おおむね適切」、「課題有」の3区分)を記載している。

(政策・施策に付した番号は、政策整理番号及び施策番号をさす。)

審議対象:21政策66施策

分科会名	政策	政策評価 (県の評価原案)	7段階判定	施策	施策評価 (県の評価原案)	7段階判定
<b>福祉分科会</b>  審議対象政策・施策数 [政策] 5政策 [施策] 16施策	2 どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり	適切	4	1 地域の中核的な病院の整備	適切	4
				2 周産期・小児医療体制の充実	適切	4
				3 救急医療体制の充実	おおむね適切	3
				4 精神医療体制の充実	おおむね適切	4
				5 在宅ホスピスケアの推進	おおむね適切	4
				6 医療・保健を担う人材の養成・確保	おおむね適切	3
	4 誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備	おおむね適切	5	1 バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発	おおむね適切	4
				2 誰もが利用しやすい施設や道路等の整備	おおむね適切	5
				1 生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組	おおむね適切	4
	5	おおむね適切	4	2 健康づくりに関する意識の向上	おおむね適切	4
				2 生活習慣病の早期発見と予防	おおむね適切	4
				6 地域リハビリテーションサービスの提供	おおむね適切	3
	6 県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり	おおむね適切	3	1 救急搬送体制の整備	おおむね適切	3
				4 食品や水道水などの安全確保	おおむね適切	4
	24 男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成	おおむね適切	3	1 男女がともに個性と能力を發揮できる社会づくり	おおむね適切	3
4 高齢者がいきいきと生活する社会づくり				おおむね適切	4	
5 女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護				おおむね適切	3	
<b>環境分科会</b>  審議対象政策・施策数 [政策] 4政策 [施策] 11施策	8 地球環境の保全	おおむね適切	5	1 地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減	おおむね適切	4
				2 新エネルギー等の導入促進	おおむね適切	5
	9 環境負荷の少ない地域づくりの推進	おおむね適切	4	1 大気環境の保全	おおむね適切	4
				2 河川や湖沼、海等の水環境の保全	おおむね適切	5
				6 ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進	適切	4
	10 豊かな自然環境の保全・創造	おおむね適切	4	1 自然公園等の優れた自然環境の保全	おおむね適切	5
				5 森林の適正な管理	おおむね適切	3
				6 自然とふれあう場や機会の提供	おおむね適切	3
	11 循環型社会の形成	おおむね適切	4	1 廃棄物の排出量の抑制	おおむね適切	3
				2 廃棄物の資源化によるリサイクル	適切	4
				3 廃棄物の適正処理の推進	おおむね適切	4
<b>教育分科会</b>  審議対象政策・施策数 [政策] 3政策 [施策] 10施策	22 個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進	おおむね適切	5	1 特色ある学校づくり	適切	5
				2 不登校児童生徒等への支援	おおむね適切	4
				3 障害児教育の充実	おおむね適切	3
				5 大学等高等教育の充実	おおむね適切	4
				6 地域に開かれた学校づくり	適切	5
				7 地域社会と学校教育との協働の推進	おおむね適切	7
				23 生涯にわたって学び楽しめる環境の充実	おおむね適切	5
	26 地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興	おおむね適切	3	2 美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり	おおむね適切	3
				3 県民が行う創作活動や表現活動への支援	おおむね適切	3
				4 食文化等の生活文化の保存・継承・活用	おおむね適切	3

分科会名	政策	政策評価 (県の評価 原案)	7段階 判定	施策	施策評価 (県の評価 原案)	7段階 判定
産業 分科会  審議対象 政策・施策数  【政策】 5政策 【施策】 16施策	14 新しい時代を担う産業人の育成	おおむね 適切	3	1 農林水産業の発展を担う人材の育成	おおむね 適切	3
				2 製造業等の発展を担う人材の育成	おおむね 適切	4
				3 商業・サービス業の発展を担う人材の育成	おおむね 適切	3
				4 IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成	おおむね 適切	4
	15 高度な産業技術の普及推進	適切	4	6 産学官連携による技術の普及	適切	5
	16 産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出	おおむね 適切	3	1 農林水産物の付加価値の向上	適切	4
				2 農林水産業や観光産業などの産業間の連携	おおむね 適切	3
				3 地域資源を活用した観光産業の振興	おおむね 適切	4
				7 魅力ある商店街づくりによる商業の振興	おおむね 適切	3
	18 産業基盤の整備による生産力の強化	おおむね 適切	4	5 戦略的な企業誘致	おおむね 適切	4
	20 産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進	おおむね 適切	3	1 IT(情報技術)等時代の要請に対応した新たな職業能力の開発	おおむね 適切	4
				2 より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制	おおむね 適切	3
				3 職業能力開発のための施設、設備の充実	おおむね 適切	3
				4 高度で専門的な技術や技能の習得を支える指導者の育成	おおむね 適切	3
				5 企業内における職業能力開発の推進	おおむね 適切	3
				6 個人が自ら職業能力開発できる環境整備	おおむね 適切	3
社会資本 分科会  審議対象 政策・施策数  【政策】 4政策 【施策】 13施策	7 県土の保全と災害に強い地域づくり	おおむね 適切	4	1 地域ぐるみの防災体制整備	おおむね 適切	3
				2 水害から地域を守る河川等の整備	おおむね 適切	6
				3 土砂災害から地域を守る地すべり対策等	適切	7
				5 震災対策の推進	おおむね 適切	4
				6 地震防災のために必要な施設、設備の整備	おおむね 適切	2
				27 多様な主体の協働による地域づくりの推進	おおむね 適切	3
	33 国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化	おおむね 適切	4	1 仙台空港の機能の強化と活用	おおむね 適切	4
				2 仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用	おおむね 適切	4
				3 仙台国際貿易港の整備と活用	適切	5
				4 仙台国際貿易港の周辺施設の整備と活用	おおむね 適切	5
34 国内の交流を進めるための交通基盤の整備	おおむね 適切	3	1 高速道路の整備	おおむね 適切	4	
			2 国道、県道、市町村道の整備	おおむね 適切	4	
			3 バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備	おおむね 適切	2	

各分科会 合計	政策評価対象政策	計30政策	施策評価対象施策	計105施策
	うち分科会の審議対象政策 【審議結果】	21政策	うち分科会の審議対象施策 【審議結果】	66施策
	判定7		判定7	
	判定6		判定6	
	判定5	4政策	判定5	
	判定4	9政策	判定4	
	判定3	8政策	判定3	
	判定2		判定2	
	判定1		判定1	

